



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.6
令和2年9月14日
文責 校長 吉尾直樹

仲間と気づく、仲間に気づく活動に

9月8～10日 第3学年修学旅行

コロナ感染症対策のため、島原半島を研修地とした修学旅行でしたが、前日の台風10号のため、2便での出発となりました。

1日目は、スタートが遅くなったことから、千々石断崖でのジオパークの学習を行わず、雲仙に直行して雲仙温泉の地獄めぐりを行いました。硫黄泉の煙の中を行動した各班では、硫化水素のにおいが我慢できないと大騒動でした。その後には予定していた仁田峠は循環道路が倒木のため通行止めとなり、急遽、原城見学に切り替えました。3万7千人の一揆勢が一人を除いてことごとく殺された島原天草一揆。平戸の春日集落と安満岳などと世界遺産「長崎・天草潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産です。建物も残っていない台地の上ですが、歴史やその当時の人々について考えました。



宿舎は島原市内のきれいなリゾートホテルです。3密を避けるため、2～3人の部屋に分かれ宿泊します。これでは枕投げもできませんね。

2日目は、島原市内で班別学習。島原城や武家屋敷、江東寺のねはん像や鯉が泳ぐまちを回りました。島原の人たちのやさしさに触れたり、郷土料理の具雑煮を味わったりしました。また、郷土料理「寒ざらし」は白玉の素朴な味わいと島原の湧水を使った甘い蜜がよく合い、ひんやりとしておいしかったです。午後からは平成新山学習として、がまだすドームと旧大野木場小被災校舎に行きました。大火砕流の被害の大きさ、江戸時代の眉山崩落、火山とともに生きてきた人々の努力を学びました。特に火砕流の熱波で焼け焦げた校舎は、机やイスも燃えていて、その威力を感じる事ができました。

3日目は、仁田峠の予定でしたが通行止めが解除になっておらず、平成新山の足元にある平成ネイチャーセンターに行きました。震度4の地震があって溶岩ドームが崩落するとわずか1分30秒で火砕流が到達する場所がありますが、平成新山はガスに隠れてみることはできませんでした。しかし、かつての火砕流の跡も草木が生え、自然の力の大きさを感じます。その後、小浜に移動し、班別に昼食をとり、たくさんのお土産を抱えて島原半島を後にしました。何度も予定変更を強いられた修学旅行でしたが、仲間と一緒に行動することを重視し、班別の活動を多くしました。仲間とともに、たくさんの方に気づきましたか。また、仲間の新しい面にも気づきましたか。



その後、小浜に移動し、班別に昼食をとり、たくさんのお土産を抱えて島原半島を後にしました。何度も予定変更を強いられた修学旅行でしたが、仲間と一緒に行動することを重視し、班別の活動を多くしました。仲間とともに、たくさんの方に気づきましたか。また、仲間の新しい面にも気づきましたか。



仲間と一緒に行動することを重視し、班別の活動を多くしました。仲間とともに、たくさんの方に気づきましたか。また、仲間の新しい面にも気づきましたか。

人に学ぶ、人と学ぶ3日間

9月8～10日 2年職場体験学習、1年ボランティア体験学習

3年生の修学旅行期間に合わせて、2年生の職場体験学習、1年生のボランティア体験学習を実施しました。この詳細は次の学校だよりでお伝えします。左の写真は、その中で1年生が行った白浜海岸清掃の様子です。台風の後だったこともあり、ものすごい量のごみに驚きました。今回はペットボトルに絞って集めましたが、それでも10袋近くになりました。ごみのないきれいな海岸にしたいです。

